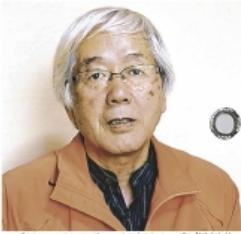


# 戰後70年

## 証言をつなぐ

半蔵門院でも藤吉郎への差別感が強かった。因此学校の閉鎖先是行政が責任を持つていたが、直轄学校ならばは學校長や教諭が田口探した。戦後の復活も後回しなり、東京の光明別院支接学校の場合は4年もかからなかった。長崎の佐世保盲学校のよ

差別の中協力強いられ



岸博実氏

きし・ひろみ 1949年、島根県生まれ。広島大教育学部卒。74年から京都府立盲学校教諭。現在は非常勤講師。2012年から日本盲教育史研究会事務局長。13年から滋賀大非常勤講師も兼任している。盲学校的教諭に立つ傍聴や視覚障害者の戦争体験談や資料を収集してきた。「点字毎日」や専門誌への寄稿多数。

## 精神面への影響検証を



一蟻塚  
亮二氏

ありつか・りょうじ 1947年、福井県生まれ。弘前大学医学部卒。精神科医。青森県弘前市の藤代健生病院院長を経て2004年から沖縄県の病院に勤務。15年から福島県相馬市で現職。欧洲ストレストラウマ学会会員。著書に「神経戦と心の傷—トラウマ診察の現場から」(大月書店)、「統合失調症とのつき

【取材】佐藤倫之、木下哲、丹村智  
国分健史  
【監修】菊池俊哉、岡部拓也

ナチス「安樂死」計画  
想定してナチスドイツ  
障害者に「不適」安樂死を  
仕立てた。本部があのビル  
から西日本大震災の被災地へ  
神奈川県横浜市に移転した  
ら改組を受け、じょじょに  
所の職員が一人ひとりが難

皆の隣の田中で、隣田  
者はどう人一種の優秀者を受  
け、どんな風に働き強いやられ  
たのか。また戦後から、戦争  
による影響の仕込みが続いた  
のか。そして、私たちは  
隣田を酒で、戦争をうどん  
え、行動をうどんのか。  
被災地を訪ねるガス事情を至  
く、なぜ人間が倒れ  
たかの原因を考へる  
とともに、日本の東京復興の  
人の分析を紹介する。

# 障害者「安樂死」

ナチス 悪魔の優生学



## 独ハダメー「罪」伝える記念館

## ●ハダマー記念館地下に残るガス室

注射されたり、鍼灸させられたり